

「凝縮系核反応共同研究部門」設置記念ミニシンポジウムのご案内

このたび、東北大学電子光物理学研究センターは、4月1日付で、株式会社クリーンプラネットと連携し、安全かつ強靱な次世代型エネルギーの実現を目指し、「凝縮系核反応共同研究部門」を設置しました。凝縮系核反応とは、「常温核融合」に端を発し、25年以上にわたり研究されてきた凝縮系における超低エネルギー核反応です。最近では、異常過剰熱発生の条件探索と再現性が高まり、また、多層薄膜の重水素透過による核変換現象が複数のグループにより報告される等、将来の実用化を視野にいたした基礎、応用研究が要請されています。本共同研究部門は、このような要請に応え、産学連携共同研究により、凝縮系核反応の学術的基盤を強化し、新しいクリーンエネルギーの開発研究を推進するものです。

「凝縮系核反応共同研究部門」の設置を記念して、来る5月13日（水）の午後、電子光物理学研究センターにて、下記のミニシンポジウム及び懇親会を企画しました。この機会に、凝縮系核反応研究の現状を知り、今後の方向に関して議論できれば幸いです。ご多忙中まことに恐縮ですが、皆様方のご出席を宜しくお願い申し上げます。

東北大学電子光物理学研究センター
センター長 濱 広幸

記

日時：平成27年5月13日（水）午後3時20分

場所：東北大学電子光物理学研究センター（三神峯キャンパス）

I. ミニシンポジウム：研究棟1階三神峯ホール、午後3時20分～5時20分

開会：電子光物理学研究センター センター長 濱 広幸

挨拶：東北大学理事 産学連携担当 進藤秀夫

(株)クリーンプラネット 代表取締役 吉野英樹

講演： ----- 凝縮系核反応の現状と将来 -----

- ・ 常温核融合ミラクルへの挑戦 笠木治郎太（東北大学電子光センター、名誉教授）
- ・ Low Energy Nuclear Reaction: Robust Results, Promising Potential and Critical Challenges David Nagel (Research Professor, The George Washington University)
- ・ 共同研究部門の目指すもの 岩村康弘（東北大学電子光センター、特任教授）

II. 懇親会：研究棟1階多目的室、午後5時30分～7時30分（会費：1000円、学生無料）

お問合せ先：電子光物理学研究センター、笠木治郎太 (kasagi@lns.tohoku.ac.jp)

*参加ご希望の方は上記宛ご連絡ください。